

# 決算報告書

第18期事業年度

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構



# 令和3年度 決算報告書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月 31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	28,449	29,324	875	(注1)
施設整備費補助金	2,182	1,563	△ 618	(注2)
補助金等収入	1,907	2,066	159	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	56	56	0	
自己収入	169	279	109	
雑収入	169	279	109	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,348	3,457	109	(注5)
目的積立金取崩	0	22	22	(注6)
計	36,111	36,766	655	
支出				
業務費	28,618	28,847	229	
教育研究経費	28,618	28,847	229	(注7)
施設整備費	2,238	1,619	△ 618	(注8)
補助金等	1,907	2,066	159	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,348	3,117	△ 231	(注10)
計	36,111	35,650	△ 461	
収入－支出	0	1,117	1,117	

端数は四捨五入により整理されております。

なお、各項目の端数整理の関係から計が一致しない場合があります。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越し、年俸制導入促進費、退職手当及び補正予算の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 875 百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、年度内未完了により翌年度へ繰り越したこと等により、予算額に比して決算額が 618 百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 159 百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階では予定していなかった特許料収入や消費税還付による収入の増加等により、予算額に比して決算額が 109 百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階での見込みよりも共同研究及び科研費間接経費による収入が多額となったこと等により、予算額に比して決算額が 109 百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった積立金を新たに計上したことにより、予算額に比して決算額が 22 百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、令和2年度に実施予定であった事業の一部を令和3年度に繰り越したこと等により、予算額に比して決算額が 229 百万円多額となっています。
- (注8) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が 618 百万円少額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が 159 百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階での見込みよりも寄附金による収入が少額となったことに伴い、寄附金事業費が少額となったこと等により、予算額に比して決算額が 231 百万円少額となっています。